

安全指導だより 10月号

令和7年10月20日（月）
西東京市立田無第四中学校
生活指導部 安全指導係

<避難訓練の振り返り>



9月は地震を想定した「全避難」、10月は火災を想定した「西避難」での訓練でした。点呼完了までの時間は9月は4分30秒、10月は4分45秒でした。校庭での点呼完了（全校生徒の生存避難完了）の目標時間を5分00秒と設定しています。目標タイムをクリアできましたが、西側の限られた階段を使用するので、混雑してしまい避難に時間がかかってしまうのが課題です。次回以降の訓練でも、少しでも早く避難が完了できるように心掛けましょう。

また、10月の避難訓練は休み時間中の訓練でした。校舎のどの場所においても緊急放送が鳴った場合には、すぐに私語をやめ、放送内容を確認するようにしましょう。また、避難指示が出た場合には、何避難か確認して慌てずに行動できるようにしましょう。

避難時の並び方は、どんなときでも男女混合の出席番号順で2列です。先頭に向かって、右側が奇数番号、左側が偶数番号になるようにしてください。この並びにしている理由は、担任の先生だけでなく、講師の先生など、誰が引率して避難しても、名簿との照合がすぐにできるようにするためです。ぜひ覚えておいてください。



<台風への備え>

赤道付近の温かい熱帯の海上で発生する「熱帯低気圧」のうち、北西太平洋または南シナ海に存在し、最大風速が17m/s以上になったものを「台風」と呼びます。夏は台風の発生する緯度が少し高くなり、日本の南東に居座る「太平洋高気圧」の縁に沿って北上し日本に近づくことが多くなります。また、秋になると日本付近の上空を流れる「偏西風」という東に向かう風の影響で日本付近を横切るように進みます。このため台風は、夏から秋にかけて日本に甚大な被害をもたらしてしまうのです。

近年の研究では、地球温暖化の影響もあり、過去40年に東京など太平洋側の地域に接近する台風が増えていることがわかりました。威力も増している傾向にあります。このまま温暖化が進んだ場合、日本の南の海上では猛烈な台風の頻度が高まると言われています。台風が発生した時には、台風の進路を調べたり、大雨や暴風などの警報が出たりしていないかなど、安全な行動がとれるような準備をしておいてほしいと思います。

自分でできる台風対策⑥



家の中の備え

- | | |
|-------------|--|
| ① 非常用品の確認 | 懐中電灯・携帯用ラジオ・救急薬品・衣類・非常食品・貴重品・携帯ボンベ式コンロ等 |
| ② 室内からの安全対策 | 飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼り、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。 |
| ③ 水の確保 | 断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。 |

<落とし物のお知らせ> 落とし物ロッカーの場所:校長室前

タオル（複数）・傘袋・白い水筒・ベルト・ハンカチ などがあります。

1か月程度持ち主が現れない場合は処分することになります。

定期的なロッカーの確認をお願いします。